

案に対する御意見及び回答

案の名称		愛南町議会議員報酬の改定について
番号	御意見	回答
1	<p>議員報酬額について増額改正には賛成です。これまでの金額が低かったこともあり標記された金額が適正であると考えます。しかし、今回改正されると年間1千万円ほど増えることとなり現実的ではないと思います。議員数が多いと感じますので議員数を削減して帳尻を合わせてはいかがでしょうか。</p>	<p>【議会から回答】</p> <p>愛南町議会の議員定数は、平成16年合併時は合併特例法による在任特例を採用して旧5町村の議員定数76人でスタートし、在任特例終了後の平成17年の議員定数は24人でした。</p> <p>その後の議員定数は、平成21年は20人、平成25年は16人、令和3年は14人と合併後の在任特例終了後から10人の定数減となっています。これは平成17年末と比較して、県内で市を含めて3番目に削減数が多く、また令和3年の定数削減の際には「定数と報酬」を議論したものの結果は議員定数の削減のみで報酬は20年間据え置きとなっていました。</p> <p>現在は議員定数14人に対し、委員定数7人の2常任委員会を設置し「一人1常任委員会」を構成していますが、議会広報を担う委員会の設置についても協議が進んでいる状況です。協議により委員会が増えた場合、議会運営委員会を含めると正副委員長に8名、正副議長に2名、議選監査委員に1名とほぼ全議員が何らかの役付き、また2委員会に属することになり、今後の議会運営には議員一人当たりの活動量及び時間の増加が見込まれています。</p> <p>また、若者が立候補できない理由として生計維持できないほどの報酬の低さ、将来の不安、議員年金廃止、厚生年金に</p>

		<p>も加入できないこと等があります。</p> <p>議員報酬が増えていないにもかかわらず、議会の活性化により活動に要する時間は増大していることは、議員を目指す若者にとって魅力ある条件に映るはずもなく、むしろ生計を維持できないほどであれば、なり手不足の一因となっています。</p> <p>このようなことから、議員報酬を増額する代わりに議員定数を削減する議会費の総額ありきの考え方から、議会・議員の活動量と町長の活動量を比較し、議員報酬を考える「活動内容を踏まえた原価方式」を用いて議員報酬を算定し、町長に提案をしました。</p> <p>地方議会は、多様な人材が参画することが大切です。議員報酬の改定案は次期改選からとなっており、現在の議員のためではなく、将来多くの人々が立候補し活発な議員活動をするための条件になるものと考えています。</p>
2	<p>私は答申書の回答額よりも議員報酬を上げるべきだと考えます。</p> <p>理由は月額 25 万円では 30 代、40 代の子育て世代・働く世代の方々が議員を目指した時に議員報酬で生活ができないと考えるからです。町をより良く、より住みやすくするためには若い世代の意見は必須だと思います。その世代の意見をストレートに反映する議員が存在しないと、子どもたちの未来を考えた愛南町のあり方を議論できないと考えております。多様性を持った議会にするためにも、上記世代の議員は必須ですが、30 歳男性の平均月収が総支給で 30 万円、40 歳男性の平</p>	<p>【執行部から回答】</p> <p>議員報酬の見直しを通じて、幅広い世代の方々が議員を目指しやすい環境を整えることが重要であると認識しています。</p> <p>今回、議員報酬審議会の答申に基づき、現行の 181,000 円(議長は 286,000 円、副議長は 227,000 円)から 250,000 円(議長は 340,000 円、副議長は 275,000 円)への引き上げ案を提示しています。御指摘のとおり、若い世代が議員として活躍しやすいようにするため、報酬額の適正化は必要であると認識していますが、現在の愛南町の財政状況や他の自治体との比較を踏まえ、今回の採用案としました。</p> <p>現在、愛南町では、議員に対する政務活動費の支給は行っていません。議員の</p>

	<p>均月収が総支給で 37 万円という一般社会の月給から考え、物価高のこの時代にせめて総支給で 30 万円は無いと上記世代の方々は議員を目指せません。これは若い世代に議員を目指すなというメッセージなのではないでしょうか？愛南町の年間予算の中の歳費は他の町と比較して高額なのではないでしょうか？また、愛南町議員の政務活動費などはどのようになっていますでしょうか？削減できる予算はないのでしょうか？必要などころに必要な資金を使うことは悪いことではないと思います。そうでないと新しいものは生まれないと考えます。若い人たちの意見を町政に取り入れていただくためにも、若い議員は必要であり、若い議員を増やすためにも報酬は上記基準まで見直すべきだと考えます。よろしく願いいたします。長文失礼いたしました。</p>	<p>政務活動費の御提案は、今回のパブリックコメントの主旨とは異なりますので直接の回答は差し控えますが、議員活動の透明性向上の観点から有意義な御意見として議会と共有したいと思います。</p> <p>愛南町では、限られた予算を適切に配分することを重視しています。歳費が他の町と比較して高額かどうかについては、全体の予算における各分野への配分状況を常に精査し、必要に応じて優先順位を見直しています。頂いた御意見を参考に、より効率的な予算配分に努めてまいります。</p> <p>今後も愛南町の町政に若い世代の意見を反映し、多様性ある議会運営が実現できるよう努めてまいります。</p>
<p>3</p>	<p>議員報酬の増額の目的をはっきりさせるべきです。議会を傍聴していても、一部の議員は片手間に議員をしているような気がします。議員の要望金額に出来れば、若い世代からなり手が出るのでしょうか。また、それも疑問です。それでも、議員報酬の増額は必要でしょう。増額されたのであれば、もっと仕事して欲しい。したがって、年に一度、各議員に自己採点を提出することを義務化して欲しい。年度末は3月議会があるので、12月議会が終わった、1月か2月に加えて、町民に各議員の評価を募集すべきだと思います。</p>	<p>【議会から回答】</p> <p>議会が議員報酬を改正する要望をしたのは、将来にわたって多様な知見や経験値を持った人材が議会を構成することができるよう、特に若い世代が議員に立候補できる環境を整える必要があると考えたからです。</p> <p>議員活動の評価については、4年に一度の議員選挙がその場面であると考えています。なお、議会の活動を町民の皆様知ってもらう方法として、本会議の放送以外にも、今年度から議会単独の「議会広報」を発行することにしました。町民の皆様と議会の意思疎通を図るための架け橋となるような紙面を作りたいと考えています。</p>

	<p>ます。それから、本当に仕事していらっしゃる議員もおられるので、政務活動費を支給するようにはすべきだと思います。政務活動費によって、議員の活動が見える化できるのでは。このままの愛南町では消滅は時間の問題でしょう。町長が、議員が、町民が、もっと真剣に町政に関心を持つべきだと思います。</p>	<p>御提案の政務活動費については、議会の中でも議論があります。今後の課題とさせていただきます。</p> <p>【執行部から回答】</p> <p>議員報酬の増額について目的を明確にすることが大切であると認識しています。今回の増額は、合併後から20年間据え置きとなっていた議員報酬額の見直しであり、他の自治体の報酬水準との均衡、議員活動に見合う適正な報酬、そして将来の候補者確保を踏まえた結果の増額です。</p> <p>議員に対する評価制度及び政務活動費の御提案は、今回のパブリックコメントの主旨と異なりますので直接の回答は差し控えますが、議員活動の透明性向上の観点から有意義な御意見として議会と共有したいと思います。</p>
4	<p>議員のなり手不足解消するためには、議員報酬を上げないと魅力がないと思っています。最終的、現実的にはお金となり、報酬が上がれば議員で生計もたてる事もある程度はできるようになるので、最終的手段だと考えてます。</p>	<p>【執行部から回答】</p> <p>御指摘のとおり、議員のなり手不足対策も視野に報酬額の見直しを行うもので、今回、議員報酬審議会の答申を基に、報酬額案を提示しているところです。この額であれば、生計を立てる上で、一定水準を満たしているものと考えます。</p>